

中学歴史プリント（過去問類似）

飛鳥時代

名前

得点

/10

問1 7世紀の日本は、朝鮮半島から移住した渡来人を通じて仏教や最新の技術を受け入れるとともに、大陸の制度を学ぶなど国家の仕組みを整えていました。こうした時代のなか、天智天皇の死後にその跡継ぎをめぐる大海人皇子と大友皇子が争った、古代日本で最大規模とされる内乱を答えなさい。（2017年 高知公立入試 類似）

1. 壬申の乱 2. 承久の乱 3. 平将門の乱 4. 保元の乱

問2 7世紀後半、日本は唐や新羅による侵攻の脅威に備え、九州の大宰府周辺に「水城（みづき）」と呼ばれる大規模な土塁や、山城（朝鮮式山城）を築きました。これらの防御施設の築城にあたって、高度な土木技術を伝え、建設を指導した渡来人たちは、どこの国から来た人々が中心であったとされていますか。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. 百済 2. 新羅 3. 高麗 4. 渤海

問3 聖徳太子の摂政就任から平安京遷都に至る日本の古代政治史において、645年の大化の改新よりも後に起きたできごととはどれか。次の中から選びなさい。（2019年 香川公立入試 類似）

1. 大宝律令の制定 2. 十七条の憲法の制定 3. 冠位十二階の制定 4. 最初の遣隋使の派遣

問4 飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）が603年に定めた「冠位十二階」の制度は、それまでの「氏姓制度」による官職のあり方をどのように変えようとしたものですか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。（2022年 高知公立入試 類似）

1. 家柄にとらわれず、個人の能力や功績がある人物を役人として登用すること。 2. 有力な豪族が代々特定の官職を独占し、世襲することを保証すること。 3. 地方の豪族に対して、領地の支配権を認める代わりに軍役を課すこと。 4. 仏教の教えを広めるために、僧侶に対して位階を授けること。

問5 天智天皇の死後に発生した大規模な後継者争いである壬申の乱に勝利し、即位したのち、天皇を中心とする強力な中央集権国家の体制を整えた人物を次の中から選びなさい。（2025年 栃木公立入試 類似）

1. 天武天皇 2. 推古天皇 3. 聖武天皇 4. 桓武天皇

問6 飛鳥時代において、聖徳太子（厩戸王）を摂政に任命し、協力して天皇を中心とした国づくりを進めた日本初の女性天皇は誰ですか。（2026年 静岡公立入試 類似）

1. 推古天皇 2. 持統天皇 3. 天武天皇 4. 天智天皇

問7 飛鳥文化が栄えた時代の歴史的な出来事について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 滋賀公立入試 類似）

1. 西暦607年に小野妹子が遣隋使として派遣され、大陸の優れた制度や文化が持ち込まれた。 2. 鑑真が来日して唐招提寺を建立し、仏教の正しい戒律が日本に伝えられた。 3. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建て、奈良に東大寺の大仏を造立させた。 4. 空海や最澄が唐から新しい仏教を伝え、比叡山や高野山に寺院が開かれた。

問8 日本の古代の歴史において、645年に中臣鎌足らとともに蘇我氏を倒し、大化の改新と呼ばれる政治改革を断行した中大兄皇子が、のちに即位した天皇の名称として正しいものを次から選びなさい。（2022年 徳島公立入試 類似）

1. 天智天皇 2. 天武天皇 3. 聖武天皇 4. 推古天皇

問9 聖徳太子が法隆寺を建立した背景にある、この時期の文化的な特徴として最も適切な説明を選びなさい。（2015年 長崎県公立入試 類似）

1. 仏教が本格的に受容され、大陸の建築様式を取り入れた寺院が国家や有力者によって建設された。 2. 国風文化が発達し、寝殿造と呼ばれる日本独自の貴族建築が広く普及した。 3. 武士が政権を握ったことで、質実剛健な禅宗の影響を強く受けた寺院が好まれた。 4. キリスト教の影響を受けた南蛮文化が流入し、石造りのドーム型建築が各地に築かれた。

問10 7世紀前半の推古天皇の時代、聖徳太子（厩戸王）らによって進められた国家体制の整備とともに発展した飛鳥文化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 京都公立入試 類似）

1. 現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺が建立され、大陸の影響を受けた仏教文化が開花した。 2. 最澄によって比叡山に延暦寺が建てられ、平安京を守護する国家仏教としての役割を果たした。 3. 藤原頼通によって宇治に平等院鳳凰堂が建立され、極楽往生を願う浄土信仰が貴族の間に広まった。 4. 奥州藤原氏が陸奥国の平泉に中尊寺金色堂を建立し、北方の地における仏教の理想郷を目指した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 壬申の乱	天智天皇の弟である大海人皇子と、天皇の子である大友皇子が対立して672年に起こった戦いで、この内乱に勝利した大海人皇子は天武天皇として即位し、天皇中心の強力な中央集権体制を築く基盤を作りました。
問2	答え 1 百済	663年の白村江の戦いで日本（倭）と百済の連合軍が唐・新羅の連合軍に敗北した後、日本は大陸からの報復的な侵攻を恐れて国防を強化しました。この際、日本に亡命してきた百済の人々が持つ高度な技術が、水城や大野城といった堅固な防御施設の築城に活用されました。
問3	答え 1 大宝律令の制定	大化の改新（645年）によって始まった天皇中心の国づくりは、その後の律令制度の整備へと繋がります。大宝律令が制定されたのは701年であり、聖徳太子による改革（十七条の憲法、冠位十二階、遣隋使の派遣など）は大化の改新より以前のできごとです。
問4	答え 1 家柄にとらわれず、個人の能力や功績がある人物を役人として登用すること。	当時の日本は、氏（家柄）によって地位が世襲される氏姓制度が中心でしたが、聖徳太子は天皇中心の国づくりを進めるため、個人の才能を重視するこの制度を導入しました。これにより、家柄が低くても能力のある者が朝廷の重要な役人として活躍できる道が開かれ、官僚機構の整備が図られました。
問5	答え 1 天武天皇	天武天皇は、大海人皇子として壬申の乱で大友皇子（天智天皇の子）を破って即位しました。即位後は、官僚組織の整備や「天皇」という称号、「日本」という国号の使用を開始するなど、律令国家としての基盤となる中央集権的な仕組みを強力に推進しました。
問6	答え 1 推古天皇	592年に即位した推古天皇は、甥である聖徳太子を「摂政」という役職に就け、共同で政治を行いました。この時期には冠位十二階や十七条の憲法の制定、遣隋使の派遣など、中国（隋）の制度を取り入れた重要な政策が次々と打ち出されました。
問7	答え 1 西暦607年に小野妹子が遣隋使として派遣され、大陸の優れた制度や文化が持ち込まれた。	飛鳥文化の背景には、遣隋使の派遣によって中国（隋）の進んだ文化や仏教が直接導入されたことがあります。鑑真や聖武天皇の事績は8世紀の奈良時代（天平文化）、空海や最澄の活動は9世紀初めの平安時代（弘仁・貞観文化）の出来事であり、飛鳥文化とは時期が異なります。
問8	答え 1 天智天皇	645年の乙巳の変から始まる大化の改新を主導した中大兄皇子は、のちに現在の滋賀県にあたる近江大津宮へと都を移して即位しました。これが天智天皇であり、日本最古の戸籍とされる「庚午年籍」の作成など、律令国家の建設に向けた基礎固めを行いました。
問9	答え 1 仏教が本格的に受容され、大陸の建築様式を取り入れた寺院が国家や有力者によって建設された。	法隆寺が建立された飛鳥時代は、聖徳太子の執政のもとで仏教を中心とした「飛鳥文化」が花開いた時期です。百済（朝鮮半島）などを通じて伝わった大陸の高度な建築技術や仏教信仰が、日本の統治体制や文化の形成に大きな影響を与えたことを象徴しています。
問10	答え 1 現存する世界最古の木造建築物とされる法隆寺が建立され、大陸の影響を受けた仏教文化が花開いた。	法隆寺は聖徳太子によって建立されたと伝えられる奈良県斑鳩の寺院で、その西院伽藍は現存する世界最古の木造建築群として知られています。この時期の文化は「飛鳥文化」と呼ばれ、中国や朝鮮半島、さらにはその先の西アジアなどの影響を受けた国際色豊かな仏教文化であることが特徴です。他の選択肢にある延暦寺は平安時代初期、平等院鳳凰堂は平安時代中期、中尊寺金色堂は平安時代末期の建築物であり、時代背景が異なります。